

The Membership Minute (会員増強詳細報告)第4巻第1号

ウィルキンソン会長、「ロータリーは分かちあいの心」を世界に示す

ウィルフリッド J. ウィルキンソン2007-08RI会長は、「ロータリーにイエスと答える」年度として、新ロータリー年度の幕を開けました。RIテーマ「ロータリーは分かちあいの心」は、奉仕と新会員の勧誘を通じてロータリーを分かちあうという会長の信念の表れです。

トレントン・ロータリー・クラブ(カナダ、オンタリオ州)会員であるウィルキンソン会長は、ロータリーの仕事を支える熱意こそが分かちあいの精神であると考えます。「このテーマを選ぶにあたって、ロータリーがどれだけ分かちあっているかを振り返ってみました。私たちは、時間と才能、そして資金を、ニーズを抱えた人々と分かちあっています」と、去る2月の2007年国際協議会で次期地区ガバナーを前に、ウィルキンソン氏は語りました。

世界各国で奉仕団体に参加する人々の数が減少の一途をたどる時世にあつて、ウィルキンソン会長は会員増強へのたゆまぬ努力がいかに重要であるかを力説します。「ロータリーへの勧誘が必ずしもたやすく運ばないことは承知しています。断られることのほうが多く、断られれば誰も落胆するものです。しかし、断られることを当たり前とし、再度誘う好機をうかがい、また、勧誘に応えてもらえそうな次なる候補者へと焦点を移す時期を知ることが大切です」

同時に、ロータリーの未来にとって等しく大切なのが青少年プログラムへ焦点を当てることだと会長は言います。「青少年プログラムの強化に努めることにより、強い責任感と倫理観を持つボランティア志向の新世代を育てることができます。若い人々は、私たちのほるか先に広がるロータリーの未来への懸け橋なのです」

この記事は、「ロータリー・ワールド」2007年7月号からの抜粋です。

ロータリーにとって会員増加が重要な理由

新ロータリー年度の開始にともない、ロータリーにとって会員増加が重要である理由について考察してみましよう。

- 会員数が増えることにより、ロータリーの奉仕能力が高まる。
- 新しいロータリアンはクラブに斬新なアイデアや新しい関心事をもたらし、活気を与える。
- 会員数が増えることにより、ロータリー財団への支援が増える。
- 会員層が多様になることにより、クラブと地域社会全体との関連が強まる。
- 奉仕志向の人は、ロータリーを通じて地域社会に奉仕する機会を得ることができる。
- 会員数が増えることにより、地元や国際的なネットワークがさらに広まる。
- 新しく若い会員が入ることにより、ロータリーとその活動の未来が確かなものとなる。

